

「（仮称）南相馬市子ども・子育て条例」についての市民意見等の集約

（１）意見交換会の開催

①開催スケジュール

区分	開催日	相手先
高校生	令和３年１１月１５日（月）	原町高等学校
子育て世代	令和３年１１月１５日（月） 令和３年１１月２４日（水）	子育て世代の母親
企業	令和３年１１月２２日（月）	タニコー株式会社
	令和３年１１月２４日（水）	イオンスーパーセンター南相馬店
保育者	令和３年１１月１８日（木）	保育園・幼稚園教諭

②各区分における意見等

- ・高校生との意見集約 **別紙１**のとおり
- ・子育て世代、企業、保育者との意見集約 **別紙２**のとおり

（２）子どもたちが描く「未来の南相馬市の姿」についての聞き取り

①実施状況

市内の複数地点に大判白紙と付せんを配置し、子どもたちに記入してもらう。

区分	開催期間	相手先
子どもの遊び場	令和３年１１月１９日（金）～ １１月２３日（火）	小高区子どもの遊び場 「NIKO パーク」
放課後児童クラブ	令和３年１１月２４日（水）～ １１月２６日（金）	小高児童クラブ 鹿島児童クラブ 上町児童クラブ

②子どもの意見等

別紙３のとおり

（３）子育て世代への出産・子育て等への希望や実態把握調査

①実施状況

調査対象	①市内在住の保育園・幼稚園等を利用している保護者 ②在宅保育支援補助の対象となる保護者
調査期間	令和３年９月１日（水）～９月１５日（水）
調査方法	市ホームページ WEB アンケートでの実施
有効回答数	２１５人

②アンケートにおける意見等

別紙４のとおり（参考に市民アンケート調査チラシを添付）

（４）南相馬市子どもの生活実態アンケート調査

①実施状況

調査対象	市内小学校５年生、市内中学校２年生の児童・生徒
調査期間	令和２年７月２１日～令和２年８月７日
調査方法	無記名アンケート方式により、小学校、中学校を通じ配布、回収
回答数	小学校５年生：２９８人、中学校２年生：２７６人

②アンケートにおける意見等

別紙５のとおり

（５）これからの子育てに関するアンケート調査

①実施状況

調査対象	令和３年４月以降にお子様を出生された保護者
調査期間	令和３年１１月２０日（土）～１１月２６日（金）
調査方法	紙アンケート
有効回答数	７９件

②アンケートにおける意見等

別紙６のとおり

当日の流れ

- 1 事務局からの説明
 - ・こども家庭課の業務
 - ・市の少子化の現状
 - ・子ども・子育て条例とは？
- 2 2つのグループで意見交換
- 3 意見の共有

11月15日(月) 午後3時40分から、「(仮称)南相馬市子ども・子育て条例」における原町高等学校生との意見交換会を実施しました。

今回意見を交わした高校生は、本テーマに興味のある生徒の皆さんで、学校内の応募により、自主的に参加いただきました。3年生が10名、2年生が4名の計14名が2つのグループに分かれて、意見を交わしました。

「(仮称)南相馬市子ども・子育て条例」における原町高等学校生との意見交換会

グループ「サーモン」

テーマ

- (1) 南相馬市に住んでよかったこと
- (2) 南相馬市にこれがあつたらいいのに
- (3) 未来の南相馬市

【出た意見の概要】

など

など

(3) についての意見

小学生が職業体験できる環境

子どもが活発な地域

若い世代と高齢者がつなげる環境

今ある南相馬市を次世代までつなげていく

など

(1) についての意見

伝統芸能の体験ができる

子どもの遊び場が充実している

相馬野馬追

南北の移動をする際、交通の便が良い

図書館が充実している

姉妹都市との交流

(2) についての意見

屋外のゴミ箱の設置

街灯が少ない

高校生が気軽に立ち寄れるファーストフード店

子ども同士が交流できるイベント

自習スペース



事務局からの説明



グループ「サーモン」は全員3年生チームで、自分の将来の夢も含め、テーマについて活発に話し合いました。

グループ「親子丼」

(1) についての意見

野馬追
郷土愛

人柄が良い

気候面で
住みやすい地域

美味しい飲食店が多い

福祉の面で
整っている

など

【出た意見の概要】

(3) についての意見

多世代で介護の仕方を学べる機会

小さい頃から大人と関わる機会の創出

空の道で高齢者を支援・連携(ドローン)

高校生の時にも様々な体験ができる環境

ロボット教育の推進
→まちづくりへの活用

など

(2) についての意見

多世代交流の場

地域における自習スペースが少ない

若者が政治に参加できるイベント

高校生による市外・県外への発信

ICT教育の強化

性的マイノリティに配慮した多目的トイレ

など



グループ「親子丼」は2年生が4名、3年生が3名のチームで、学年に関係なく、自分の意見をしっかりと伝え、円滑な意見交換となりました。



最後は参加者全員で記念撮影！
高校生からは、「こういう意見交換できる機会がもっとあるといいな」という声もあり、とても充実した時間となりました。

「（仮称）南相馬市子ども・子育て条例」制定に向けた意見交換会

2021.11.15 原町高校

《テーマ》

- 【1】南相馬市に住んで良かったこと
- 【2】南相馬市にこれがあったらいいのに
- 【3】未来の南相馬市

【1】南相馬市に住んでよかったこと

《グループ「サーモン」》

- ・伝統芸能の体験ができる。
- ・比較的南北の移動の際、交通の便が良いと思う。
- ・各区に遊び場があり、そのような遊び場で他の生徒との交流ができる。
- ・相馬野馬追があることで、“南相馬”を知ってもらえる。
- ・姉妹都市との交流があり、自分の好きなことへ挑戦できる。
- ・図書館が充実している。（DVDの閲覧や自習スペースが多くある等）
- ・「こどものつばさ」で県外での交流ができ、とても良い経験になる。
- ・“ゆめはっと”は県内でも比較的規模が大きく、音楽のみではなく様々なイベントを実施していること。（子どもにとっても良い経験になると思う）

《グループ「親子丼」》

- ・相馬野馬追など郷土愛があるところ。
- ・（海や山などにも）自転車で移動が可能なおとこ。
- コンパクトシティ
- ・気候面で住みやすいところ。
- ・人柄が良いところ。人を思いやり、つながりがあるところ。
- ・福祉施設が整っているところ。
- ・飲食店が意外と多数あり、美味しい。
- ・小中学校の勉強できる環境が整っているところ。（エアコン、ベッパくん等）

【2】南相馬市にこれがあったらいいのに

《グループ「サーモン」》

- ・高校生が気軽に立ち寄れるファストフード店がほしい。
- ・学校の通学路でも街灯が少ない。（帰り道が暗くて危険）
- ・車用の信号機しかない場所がある。
- 歩行者用の信号機を設置してほしい。
- ・テニスコートや図書館などの公共施設の屋外にポイ捨てが多くみられる。
- 最低限の場所にはゴミ箱を設置してほしい。
- ・歩行者用の横断歩道で車が止まってくれない。
- 歩行者が待っていたら止まってくれたらいいな。
- ・高校生が集まれる場所
（前はジャスモール内にちょっとした遊び場があった）
- ・小高交流センターのような自習スペース
（友達と教え合いながら勉強できるような）
- ・子ども同士が交流できるイベント
→前にあった子ども会のようなイベント

《グループ「親子丼」》

- ・勉強（自習）できる施設等が少ない。
- 塾・図書館・カフェなど多様な施設の整備
- ・公共施設・学校等に多目的トイレの設置
→LGBTQ（性的マイノリティ）に配慮した、誰でも気軽に使用できる
- ・ICT教育の強化
→機器やシステムの拡充及び機器を扱える人の整備
- ・若者（大学・高校生向け）が政治に参加できるイベント（研究会）の開催
- ・大人同士や多世代と交流が出来る場所（地区のBBQ等）
（小さい子の遊び場や高齢者のサロンはあるのに…）
- ・高校生自身による市外・県外への情報発信の場
→高校生自身が取り組んでいる活動など子どもに焦点を当てて発信していくことで、子どもがまちづくりに関われる可能性を伝えられる。

「（仮称）南相馬市子ども・子育て条例」制定に向けた意見交換会

2021.11.15 原町高校

【3】未来の南相馬市

«グループ「サーモン」»

- ・学校だけではできないイベント等を市と連携することでできるような環境
- ・震災で避難したときに小学校の近くに消防署があり、実際に見学したり、地元のイベントなどで体験できたりした。
→市の事業などと連携させながら子どもが体験できる機会の場を創出することで、南相馬市で働くことや地域の良さに気付くことができ、地元愛につながる。
- ・今は核家族化が増えてきて、おじいさん、おばあさんが地域で孤立する状況
→地域で若い世代との交流を月1回開催して、お互い顔見知りになり、つながりが増える。
- ・子どもが活発な地域
→子どもが元気だと、地域も元気になる。
- ・自分の子どもが生まれた時に連れていけるような娯楽施設
- ・子どもが職業体験できる環境（施設）
→その施設の中で様々な職業体験ができるイメージ
- ・企業誘致を今後も推進し、様々な企業があることでUターンの増加が期待できる。
- ・今ある南相馬市を次世代までつなげていく環境
→今まで引き継がれている伝統芸能や豊かな自然など

«グループ「親子丼」»

～こうなっていたら帰って来たい。～

- ・福祉が整っている。
→介護士不足の解消（介護士の人的確保）
- ・介護士（資格所持者）以外にも車いすの操作方法や資格取得に向けた講座（若年層も含めて）
- ・ロボット産業の推進（ドローン等）
→ロボット教育の推進やロボットでまちづくりができるようにロボットを活用していける環境整備
- ・空の道（ドローン等）の推進
→運転できない、自分で買い物できない高齢者の方々向けに物資を届ける仕組みづくりだけでなく、家族・親族間においてもつながりを作れるように事業所等の協力・連携が取れるようなまちづくりの推進
- ・小さいお子さんを育てるお母さんが気軽に集まれる・参加しやすいコミュニティの生成
→子どもを遊ばせながら、お母さん同士の交流もでき、在中のカウンセラー設置による相談できる環境
- ・小さい頃から大人と関われる機会の創出
- ・小学校でもまちづくりに関係している大人との交流
→子どもの時から南相馬市のまちづくりに関わることで、意識の醸成にもつながる
- ・高校生の時期に様々な体験ができる場・環境
→中学生の時期に職業体験を学校教育の一環で体験するが、高校時代にはなく、ちょうど自分で物事を考えられる時期に大人と関わる時間が少ない。
行政のまちづくりなどにもっと高校生などを巻き込んで良いと思う。

◆子育て世代における意見集約◆

項目	主な意見等
子育て世代の 母親の環境	・移住してきた人の場合、周りに相談できる相手がいない。 →私と子ども1対1で1日を過ごす…子どもを通さない自分のあり方を見失ってしまう。 ・母親としての自分だけではなく、一人の女性として子どもを通さない人との関わりが大事。 ・働きたくても子どもを預けられない状況…待機児童の問題 ・母親としての時間の中に、一人の女性としての時間が少しでも必要 →母親たちの居場所づくり ・子育てしていても自分のワクワクすること、得意なことを少しずつ実践していき、それが形になる。 →自分の自信へとつながる→それが社会（仕事）へ戻るきっかけになる可能性もある ・一度仕事を辞めて子育てをして、しばらく社会から離れてまた戻ろうとしたときにハードルが高い。
市の 子育て環境	・ファミリーサポートセンター…登録するまでの道のりが長い ・一時預かり…母親のリフレッシュの時間でも活用できる制度だが、仕事優先のため、利用したいときに利用が難しい現状。 ・近隣自治体から見ても、南相馬市は子育てしやすい場所だと感じる。 ・南相馬市には合理的配慮、インクルーシブ※1が欠けている。（学校や公園など） →そこに力を入れれば、みんなが住みやすく生きやすくなるのではないか。 ※1：あらゆる人が孤立したり、排除されないよう援護し、社会の構成員として包み、支え合うこと。 ・専門の方などが配置されてるなど、障がいがある子どもに向けた預かる場所がない →仕事と子育ての両立が難しい （学校の下校時間には迎えに行けるように仕事時間を調整している） ・障がいに対する配慮と理解がまだまだ進んでいない。 ・障がいに関する専門病院や療育機関などが少ない。 ・不登校児に対するサービスがほとんどない。 ・悩みを抱えている子育て世代が相談しやすい窓口があると良い。 （市役所の窓口が相談しにくい、声をかけにくい雰囲気がある） ・ソーシャルワーカーや障がいに携わる方が少ない。

理想的な子育て環境	• もっと気軽に安心して預けられる場所 → 2～3時間の仕事や自分の勉強のためなどで預けられる → 仕事や勉強できる空間があり、その近くで子どもを預けられるような場所 • 保育園の入園規定に当てはまらない人たちが、安心して預けることができる場所の創出 • 仕事と子育ての両立 → フルタイムだけでなくパートや短時間勤務の方への支援も必要 • 多世代交流 → 高校生などへ子育てをする前に子育ての情報などを伝える → 子育てに対する知識や心構えを得られることで、子どもに対する気持ちも変わってくるのでは？ • 自分（母親）が好きなことを形にしていく姿を子どもに見せることで、子どもの価値観が広がると思う。 → 母親たちが自分のやりたいことをできる環境の場の創出 • インフルエンザ、コロナワクチンなど、障がいのあるお子さんが学校や一部の機関で一斉に受けれるようにして欲しい（親は同伴） → B型就労などでは、コロナワクチンを打ちに来てくれている。 • 学校や幼稚園に色んな案内のチラシをどんどん出して欲しい。 → 例えば、〇〇差し上げますとか、みんなが必要な物を堂々と貰える町にして欲しい。（野菜やお米、調味料や衣類等） • 子ども2人がそれぞれ支援学校と小学校に通う場合、送迎が大変。 → 小学校に通学バスを出して欲しい。 • 市で実施している子育てサービスの情報発信をもっとしてほしい。 • 専門の方が配置されているなど障がいがある子達に向けた預かる場所。 • 事例が多い地域の対応力や連携体制を南相馬市でも参考にしてほしい。 • 年齢関係なく気軽に使用できる施設 • 子ども食堂があると良い。 • 不登校専門の支援が子どもにも親にもあったら良い。 • 親が(特に母親が)吐き出せる場 → 一緒に聞いてくれる事で気持ちだけでも楽になる場所が大切 → 専門の支援者のフォローに救われ解消し改善へ向かうのでは？ • 学校のスクールカウンセラーや安らぎの場は、悩みは吐き出せるが、解決もなく改善もされない現状もある。→ 専門的な機関や場所があると良い。 • 24時間受け入れ体制を備える場所（群馬県大泉市を参考に） → 障がい児専門の施設で、1人に対し支援員1人配置されており、送迎サービスもあり。
------------------	---

◆企業における意見集約◆

①タニコー株式会社

項目	主な意見等
会社の子育て環境	・育児休業制度あり →女性はほぼ取得している（現在産休：1名、育休：3名） - 取得期間は約1年～1年弱 （保育園の入園に併せて育休から復帰することが多い） →一方男性について今まで取得者はなし（制度は女性同様取得可能） - なかなか取得しづらい環境…震災後従業員数が少ない状況もある ・男性が育児休業した場合の代替者の問題 →工場の場合できないこともあるため、引継ぎが難しいところもある。 （引継ぎ期間がしっかりとあれば良いが…） →男性の育休1か月はハードルが高いと感じる（従業員数が少ない状況） ・有休などの短い休暇は取得しやすい状況 →年間5日以上は取得しなければならない ・子どもの関係で休む必要がある場合 →年休での対応となる（時間単位で取得可能） ・来年度から週休二日制となる
雇用環境	・採用状況が厳しい…高卒、専門卒、大卒の3部門で実施（3～4割が女性従業員） ・男性の育児休業の取組を進めれば、大学生等の採用の強みになると思う
働きやすい職場環境	・5年前にトイレを男女別、和式を洋式に変更
市への要望等	・共働き世帯の増加、また祖父母世帯も働いていることが多い →頼りになるのは保育園等になる →ただ、年度途中での入園が難しいことから働きたくても働けない状況 ・ひとり親世帯も増加している現状…ひとり親家庭への支援の充実 ・市全体の雇用説明会などを実施してほしい →以前は東京会場などに赴き、ブースを設置して説明会に参加していた

②イオンスーパーセンター南相馬店

項目	主な意見等
会社の子育て環境	・看護休暇制度、産前産後休暇制度、育児休業制度、短縮勤務制度あり ・育児休業制度 →1年以上勤務した方は最大1年取得可能 - ただし、保育園等に入園できなかった場合は1年6か月まで取得可能 →男性についても子どもが生まれてから2か月間取得可能 - 今まで南相馬店で男性1名取得 (育休期間は無給だが、国における育児休業給付金制度により給付金あり) →ただ、働き手が少ないこともあり、育休を取得しづらい状況ではある。 ・南相馬店にはないが、大型ショッピングモールなどでは、託児所付きのイオングループとして運営している場合がある。 ・年休取得の促進 →長期的に取得することを推奨(5日間を4回取得など) - 合計20日取得することは必須としている →この仕組みを利用して男性が子どもの出生時に取得する方もいる ・看護休暇(子どもの看病でも取得可能)を取得した場合 →急な場合が多いので代替従業員の手配は難しい。少ない状況で対応する。
雇用環境	・震災後人口が減少している状況で、働き手の確保が難しい →土日勤務できない場合でも雇用せざるを得ない状況 ・正社員の場合転勤がある →地元志向が強い地域であり、正社員での雇用が難しい →高卒の場合、20歳到達までは自宅から通える店舗で勤務する ・雇用がしっかりしていないと働きやすい環境にならない →雇用の安定が大切 →それと同時に子育て世代が働きやすい環境となることが大事(子育て世代の方が働く場でもある)
市への要望等	・子育て世代が働ける時間を増やせる取り組みが必要(子どもが一人で留守番することが少なくなったことなどの背景から) →小学生を含めて夏休み、冬休みの長期休暇や年末年始などでも預けられる場所 →児童クラブなどが小学6年生まで上限を上げて、さらに預けられる人数を増やさないと子育て世代の雇用充実につながらない →保育園の預かれる時間を夜8時くらいまで延長。
その他	・子どもが遊べる場を企業(イオン)として誘致できたら良いと考えている。 →以前はジャスモール内に子どもが遊べる場としてファンタジーというアミューズメント施設があった

◆保育者における意見集約◆

項目	主な意見等
保育者・幼稚園現場の役割	・4年前に教育要領の改訂があり、幼児教育から高等学校まで継続的に見通すこととなった。高等学校まで「資質・能力」の三つの柱を育成することとなり、幼児教育はその基礎を担う役割。 →「学びに向かう姿勢」の基礎を育む…子どもの根っこの部分をしっかりと育む →非認知能力の育成（数値では測れない部分）…遊びの中から学んでいく ・今までだったら先生が引いたレールに沿って進んでいた。 →子どもがやりたいことを先生がバックアップする教育へ（イメージ） ・小学校ではアクティブラーニングの実践 →子どもが自ら進んで積極的に、自分で考えていく学習 →小学校で自分の意見を言えるようになるためにも、幼児教育で自分の意見を持てる、持つ教育をしていく必要がある →幼稚園などの場が自分の意見を言って受け入れてもらえる環境であることが必要 ・南相馬市では上記のような教育方法を段階的に実施。 ・現在国で推奨している教育方法は、先生方や親世代は受けていない教育であり、4年前から教育方法が変化したことを親へ伝えることが大変。 →先生方や保護者は今まで受けてきた教育しか知らない。 保護者の方へは今の教育方法についてお話をしたり、生活の中で子どもの成長を写真でお伝えしたりなど、少しずつ浸透するように働きかけている。 ・なぜ今国は教育方法を変えたのか （他国では10年前に取り組んでいて、日本はそのデータを見て4年前に教育方法を変えた） →今の教育に限界がきている →このままの教育をし続けても、虐待問題や人種問題などの問題は増える一方で、発想豊かな子の育成は難しい。
小学校との連携	・小学校との連携の難しさ →今年度から原町さくらい保育園・あずま保育園は原町第一小学校、かしま保育園・上真野保育園は上真野小学校に協力してもらい、打ち合わせの場を設けている。 （5歳児をどのような点に意識して保育しているかなどの情報共有したり、意見を交わす） →すべての公立・私立の保育園、幼稚園及び小学校で実施できるよう、来年に関係部署を交えて実施検討の場を設ける予定。

保育者が考える「健やか」とは	• 自己主張ができること →自分のことが自分で言えて、自分でやりたいことがちゃんとと言える、できること（自分が自分として認められる） • 心が健やか • 自分の好きなものややりたいことがわかり、それが周りに認められる →自己肯定感につながる
子どものかかわり	• 発達障がい…発達の過程ではたくさんいる →10人いれば10人の個性があり、その子にあった関わりをすることが大事 • 自分に自信をつけさせ、自尊心を育むことが小学校以降の教育に大事 • 各年齢層に応じた接し方 0歳 ～ 親などとの信頼関係を築く 《ここがまずスタート》 2歳 ～ 自我の芽生え…自分が主張しても受け入れてくれる環境であることが大事 自分で選択し、自分で折り合いをつけることができる →親の学びの場が必要（接し方が分からない親が多い）
保護者のかかわり	• 保育参観などで今の子どもの発達や先生の取り組みなどを毎回お話しする →その結果、行事などで保護者の協力が多く得られたり、保護者の悩み相談の減少につながっている。 • 親の知識を変える →保育園は便利な場所という認識を変えることが必要 • “ニーズに合った” …親の言うことを全て聞くことがすべてではない →親が楽するためのニーズを推進してはいけない →そこを分かってもらうために保護者へ伝えることの重要性 • どの親にも子育てはこういったものだよと伝える機会があると良い
地域のかかわり	• 直接的な地域とのかかわりを今の若い世代は求めている…教育の違いで摩擦が生じる • 保育園などが地域と関わるかけはしとなる（双方にとって良い） →老人ホームへの訪問や0歳児などの食事サポートなどを老人団体に手伝ってもらおう
その他	• 親が型にはめようとするからストレスとなる →子どもの本来あるべき姿は違うということの認識が必要 • いじめがない国…フィンランド →自由に考え、子どもが育ってくるのを支えることが必要 • 相手を攻撃する人…自己肯定感の低い人 →相手を攻撃することで自分の存在価値を見出す

◆子どもの夢や希望・描く未来の南相馬市の姿の把握調査の意見◆

＜実現したい夢や希望＞

～職業・職種～

- ・ユーチューバー（14名）
- ・美容師さん（9名）
- ・警察官（7名）
- ・保育士さん・幼稚園の先生（7名）
- ・サッカー選手（5名）
- ・お花屋さん（5名）
- ・看護師（4名）
- ・消防士（3名）
- ・パティシエ（3名）
- ・ケーキ屋さん（3名）
- ・お医者さん（2名）
- ・ネイリスト（2名）
- ・プロ野球選手（2名）
- ・スポーツ選手（2名）
- ・トラックの運転手（2名）
- ・アイスケーキ屋さん（2名）
- ・クレープ屋さん（2名）
- ・カフェを開きたい（2名）
- ・タピオカ屋さん（2名）
- ・ラーメン屋さん（2名）
- ・アイス屋さん
- ・アナウンサー
- ・ウェディングプランナー
- ・歌のおねえさん
- ・運転手
- ・英語の先生
- ・お菓子屋
- ・お笑い芸人
- ・画家
- ・恐竜博士
- ・車屋さん
- ・ゲームセンターの店員
- ・建築家
- ・酒屋さん
- ・自衛隊
- ・市役所職員
- ・獣医
- ・ジョッキーになって、武豊みたいになりたい
- ・ティックトッカー
- ・トドの飼育員
- ・農業（牛育て）
- ・博士
- ・パパの働いている会社の従業員
- ・バレー選手
- ・飛行機の運転手
- ・ビジネスマン
- ・ヘアメイクさん
- ・ペットショップの店員
- ・マジシャン
- ・郵便局の人

～その他～

- 推しと会う（3名）
- お金持ちになりたい（3名）
- コロナになりませんように（3名）
- ディズニーランドに行けますように（2名）
- バイクに乗る（2名）
- 人工芝のサッカー場がほしい
- バレーが上手になりたい
- テニスが上手になりたい
- バレーが上手になりたい
- 水泳を頑張りたい
- みんなで家族旅行に行きたい
- 字がうまくなりたい
- サイゼリアが食べたい
- メガネ人口が増えるといいな
- お化粧する人
- おさるさんになってトラックに乗りたい（トレーラーユニック）
- 飛行機に乗れますように
- めっちゃ電車に乗れますように
- バスに乗れますように
- リムジンに乗ってみたい
- お客様の前で馬に乗りたい、友達と馬に乗りたい
- 都会へ行きたい
- 良い学校に入って良い会社に入って幸せになりたい
- 普通に生きること
- 自由な人になりたい
- 病気になりませんように
- まま
- お嫁さんになりたい
- ママと同じ会社に入りたい
- 美人と結婚して天才になって看護師になりたい
- ユーチューブに出たい
- ユーチューバーに会いたい
- 毎日が夢みたいなお話しみたいな毎日
- しんのすけ君とずっと一緒にいたい
- ひなたとしんのすけ 家に必要なものを買う
- しんのすけ君とおんなじ服がほしい
- ひなたと車を買ってドライブしたい
- しんちゃんと車でドライブしたい
- ひなたと結婚したいです
- 石油王になりたい
- 瞬間移動できますように
- ゼンカイジャー
- ゼロワンになりたい
- エグゼイドになりたい
- プリンセスになりたい
- かくれももじりになりたい
- サンタさんが来てくれますように
- 禰豆子になりたい
- 東京で東京タワーがあって大きいタワーでした

<こんな南相馬市に住みたい>

～情勢・雰囲気～

- ・コロナがなくなる（8名）
- ・平和な南相馬市（4名）
- ・楽しい南相馬市（4名）
- ・優しい人がいる（4名）
- ・明るく綺麗な町（3名）
- ・事故、犯罪がない南相馬市（2名）
- ・怖い人（こと）がいない（2名）
- ・いじめのない南相馬市
- ・元気に楽しく安全に過ごせる南相馬市
- ・みんな笑顔、ニコニコな南相馬市
- ・自然に優しい南相馬市
- ・おもしろい南相馬市
- ・怒らない町
- ・またお祭りがやりたい
- ・グルメとか夢の国から来たみたい

～その他～

- ・飲食店がたくさんある（11名）
（マクドナルド、ファミレス、スターバックス、カレー、寿司、ラーメン、パンケーキ、ハンバーガー、ピザ、丸亀製麺）
- ・大きいイオン、スーパーがある（9名）（遅くまでやっている）
- ・公園がある南相馬市（7名）
（広い、多数、室内）
- ・ゲームセンターがある（6名）
- ・遊園地がある（5名）
- ・ディズニーランドがある（4名）
- ・無印良品がある（4名）
- ・大きな病院がある（3名）
- ・ガチャガチャの森がほしい（3名）
- ・鹿島小の隣に八沢小ができてほしい（3名）
- ・ペットショップがほしい（2名）
- ・本屋さんがある（2名）
- ・映画館がほしい（2名）
- ・東京リベンジャーズのお店がある（2名）
- ・服屋さんが増えてほしい（2名）
- ・コストコが欲しい（2名）
- ・NIKKOパークがいっぱいあったらいいな
- ・自分の家にブランコやジャングルジムやいろんな遊び場があってゲームがいっぱいあったらいいな
- ・水族館があるところに住みたい
- ・駄菓子屋がほしい小高区に
- ・何でも引き受けてくれる会社がほしい
（大きい会社が出来てほしい）
- ・小高区に皮膚科がほしい
- ・横断歩道がほしい
- ・小高区にサッカーの練習場がほしい
- ・小高区にバッティングセンターがほしい
- ・アニメイトがほしい
- ・きれいな美容室
- ・ホテルに住みたい
- ・ペットカフェいっぱい作って欲しい

- 自分の好きな物が売っている
- K-POP が売っている店
- ハワイアンズ
- アニメイトがほしい
- 小高区にラウンドワンがほしい
- 小高区にツルハドラックがほしい

- 小高区に HMV（CD 屋）がほしい
- 小高の人口を増やしたい
- おばけがいない南相馬市
- 瞬間移動が出来ますように
- ドラえもんがいたらいいな

◆子育て世代への出産・子育て等への希望や実態把握調査の意見◆

【子ども・子育て等に関するアンケート調査における自由記載意見抜粋】

項目	主な意見等
情報発信	・市が行なっている取り組みをもっと多方へアピールするべき。近隣の市町村より、子育て支援に取り組まれていると思うが、これから結婚して家庭を持つ世代にその情報が浸透していない。 ・健康づくりガイドブックの医療機関一覧について、各病院やクリニックなど写真付きの病院紹介の冊子があれば病院の雰囲気も分かり子育ての不安を少しでも減らしてくれると思う
経済的支援	・第 1 子から出産祝い金を支給する自治体もあり、今後実現に向けて検討してほしい。 ・3 人目だけでなく、2 人目からも支援金を出してもらいたい ・給食費を無料にして欲しい。 ・子供手当を高校卒業までにしてほしい。 ・高等教育の経済的支援を充実（他 1 人同回答）
保育環境	・少子化といいながら、待機児童がいるという矛盾。保育士不足なのもあるのかもしれないが、なんとかしてほしい。 ・保育料無料は本当にありがたい。給食費くらい払ってもいいと思う。 ・保育園、幼稚園はもっと小規模にしていっていいと思う。人数が多すぎる。保育士さんの負担が大きくなっている部分があると思う。 ・在宅保育をする人の取材をしてほしい。保育料が無料なので、預けなければ損であるという風潮があり、無理して預ける人がいるので、在宅保育する楽しさを伝えてほしい。 ・今年 4 月から南相馬市へ移住してきた者で、3 歳と 1 歳の子どもがいるが、こちらにきて感じたことは、公園や子どもの遊び場が整備されていて充実している。子育てハンドブックの内容もわかりやすく、子育てするのに欲しい情報が載っていて助かる。 - また、在宅保育支援金という市の政策にも驚き、とても有り難い。 - その一方、私は今年度中に仕事に復帰する予定だが、年度途中

	からの保育園の入園はかなり厳しい状況のようで不安。認可外保育施設もありますが、仕事に復帰するときに子どもを安心して預けられる場所が増えるといいなと思う。 ・第一希望の保育園に受からない。兄弟が通っているのに受からない。受からないため、仕事も変えなければならなくなった。 ・長期休暇時の幼稚園預かり保育の開始時間を早めてほしい。 ・保育士の待遇改善（他 1 人同回答） ・保育園・幼稚園等のカリキュラムの中にも、英語や数字、文字に触れる時間が増えても良いと感じる・ ・認可外保育施設に預けている人への補助を行なっている行政はあまりないと思うので、ぜひ続けていただきたい。 ・職場に託児所があるが、定員がいっぱいに近い状況なので保育園の申請を考えている。しかし、職場に託児所がある場合保育園の必要性が低いと判断されると聞き、待機児童が多い現状も理解はしていますが、預け先が見つからないと働きに出ることも難しくなるため、家庭に合わせた、保育園必要性の判断をしてほしい。 ・夜間保育
子育て支援	・双子の助成。 ・ファミサポを利用しているが、料金が一時預かりの倍以上掛かるためリフレッシュには使っておらず、実家も離れている為、もっと母親が息抜き出来るような環境もあったら嬉しい。 ・0 歳児の一時保育も可能にして、市の一時預かりを拡大してほしい。
環境整備、まちづくり	・子どもの屋内遊び場を原町区内にも作って欲しい。公園をもっと定期的に整備して欲しい(遊具の劣化や雑草が気になる)。娯楽施設をもっと充実してもらわないと若者は戻らないと思う。親子共に行くところがなさすぎる。コロナのこともあり、余計にそう感じる。 ・原町区の室内の遊び場等の充実（他 5 人同回答） ・若者が休日に楽しめる商業施設の設置や、多種多様な職種の会社が出来るとにより、子育て前の世代の流出を防ぐ事が出来る考える。 ・道路の街灯が少ない。帰り道、暗くて危ないため、とても一人で歩いて帰らせる事が出来ない。高校生の女の子も、不安を感じているため、街灯の見直しをお願いしたい。

	・鹿島区内に、相馬にある尾浜こども公園のように子供たちが外でも中でも遊べるような大きな公園や高見公園にあるじゃぶじゃぶ池のように水遊びできる場所があると良い。 ・児童クラブも正社員フルタイム優先と聞く。パートタイムの子でも預かってほしい。 ・児童クラブや幼稚園保育園の預かり保育で、習い事との連携が出来るとありがたい。防犯上、安全上、児童クラブから習い事に歩いて行かせるのは不安がある。送迎システムや、児童クラブ内で習い事が出来ると、学力向上や経験も増えると思う。 ・東京など他地域と教育格差が生まれないよう習い事や塾にも選択の幅が欲しい。 ・市内における民間で実施している子どもの習い事の一覧などをHP等で紹介して欲しい。（スポ少に限らず） ・通学路の整備・設置 ・学校周辺の駐車場確保 ・病児保育が可能な施設があるほうが働きやすく産みやすく育てやすくなるのではないかなと思う。 ・子どもが遊びたいと思える環境整備（他 1 人同意見） ・学童として使用する児童センターではなく、学童に行っていない子も遊べる場所を原町区にも作ってほしい。 ・子育て支援センターは、乳幼児までなので幼児や小学生も行けるような場所の提供
住環境	・住宅補助も皆、高額なローンを抱えるので基準等なく、一律で補助を受けられるべき。 ・以前は若者世帯の補助金がありましたが、制度が変わり多世代同居や多子世帯、市外からの移住、定住の方への補助金に変わったため、多子世帯でなくても、子どもの人数関係なく平等にするべき。
職場環境改善・業務改善	・会社が子育てにもっと理解を示して欲しい →休みやすい、時短が使える、育休がしっかり取れるなど。 ・働きながら育児をしている身としては、周りに迷惑をかけている、申し訳ないと思いながらも働いている。申し訳ないと思わずに仕事も子育てもしたい、贅沢な悩みでしょうか？
医療、不妊対策	・皮膚科や耳鼻科が少なく、あっても大きい病院なので軽症な場合行くのを躊躇ってしまう。 ・小児科専門医が少ない（他5人同回答）

	・産婦人科の充実（他2人同回答） ・小児科が少なく、小児科のある病院に行っても高齢者が多く待ち時間が長いため、相馬に行っている。小児科専門の病院があればと思うことが何度もあった。また、震災後に移住しましたが原町に住んでいるだけで『いつまでも医療費払わない人』と言われたこともあり、小高、原町、鹿島の補償の区別？もいつまで続くのか、続けることがいいことなのか疑問。 ・子供が欲しくてもできない人への経済的な負担軽減 ・産婦人科、小児科、皮膚科、耳鼻科など子供を産み育てる上での病院が少ない。 ・小児科が市内にないため、時間外でも診察してほしい。
その他	・ずっと住みたい町の創生を期待 ・市がどのような状況を「子育てしやすい町」と考えているのかが不明確。市職員の子育て世代(男女問わず)は業務量を減らす、残業をしないなどの配慮はあるのですか？もし市職員にさえ配慮できていないのであれば、子育て関係の政策は現実的ではないように思う。 ・自分が生まれ育った地元で親と一緒に（あるいは介護しやすい近くに）暮らしながら、子どもを育てたいと思える市にして欲しい。 ・石神第一幼稚園や第二幼稚園を再開してほしい。 ・両親が共働きすることを大前提として、家庭と仕事の両立を図れるよう全体の機運を上げる工夫や環境の整備。 ・小学校の学区を希望すれば変更出来るようにして欲しい。正直言って生徒数の少ない学校へは入学させたくないし、保育園や幼稚園の関係で友達の居ない学校に通わせる不安がある。 ・市内在住の親世代と同居（完全同居、敷地内同居、近距離同居等）した場合のリフォーム費用の助成や多世代同居住宅費の助成等、新たに市内に住みはじめる世帯以外にも支援の幅を増やして欲しい。

◆南相馬市子どもの生活実態アンケート調査の意見◆

【「子どもが過ごしやすい、暮らしやすいまちにするため、こうすればよい」と思う項目における自由記載意見抜粋】

小学5年生	子ども相談サービス。電話ではなく、申込書。理由は電話では相談しにくいから。
	子どもがいる家に子ども部屋を作る（無料）。おかし無料。
	児童クラブや学校などに、子どもが楽しめる道具や施設を配置する。
	クリスマスの日の三日前欲しい物を紙に書いて、指定された場所にその紙を置き、サンタクロース役の人がそれを見て、それを手に入れ、渡す。
	もうすこし子どもの意見に耳を傾けて欲しい。
	住んでいる地域で、イベントを開く。
	ゲームセンターがある所。勉強を教えてくれる所。たくさん体を動かせる所。
	もしも虐待やいじめなどされているときに頼る人がいないときのためにもっと気軽に相談などが出来るところをもっと今より増やした方がいいと思います。
	自分で、出来る事は自分でやる。
	オンラインで勉強できればもっと住みやすく自由に勉強出来るのではないかなと思うので、オンライン用のタブレットを配布したらいい町になると思います。
	今の小学校は、許可が無いと保健室に入れないので、学校で何かあったときの、逃げ場所が欲しいです。
	ポイ捨てをしない。
	親の暴力がない町。
	子どもが遊べる場所をもう少し作って欲しい。
	いじめを無くす。
	通学路の草刈りをして欲しい。
	喧嘩を相談できる場所が学校の近くにあるといい。
	公園を増やす。

	ポイ捨てを無くして、綺麗な市、町にしたいです。
	いじめの無い町。
	もし、小さい子供がいたら、ベビーカーを押して行けるようにスロープなどが保育園などにあれば良いんじゃないかなあと思う。
	自然が豊かな所にする。工場などで出た二酸化炭素や排水、悪いガス、悪い物質などがあまり出ないようにして、自然環境を守る。食品ロスを減らす。(3R)。地球温暖化をなるべく遅くする。大気環境をもっと良くする。
	いじめや、スマホを持っている人で、誹謗中傷をしたり、相手を馬鹿にしたり、からかったり、とにかく、相手を傷つける人がいなくなれば、暮らしやすく、なると思います。
	ベンチなど増やして欲しい。公園、遊園地、綺麗なトイレ。
	安全に身の回りから、優しく。
	学校内のトイレや、教室などを、綺麗にして欲しいです。綺麗にすることで、皆が、使いやすく、居心地の良い場所になると思います。それから、今は、宿泊活動は、やらない方が良いでしょう。なぜなら、コロナが心配で、「うつったらどうしよう。」と困っている人もいますからです。
	市でやっているお祭りや、市のイベントなどを使った町が良いと思います。
	皆自由に出来る街（勉強したい子は勉強、ゲームしたい子はゲーム等）。自分の意思決定で出来る事をしたい。出来る様な施設とか。
	皆が人に優しくして、皆で協力して健康で安全にする。

中学2年生	自分の事だけではなく生徒の事を考えてくれる先生がいてくれれば良いと思う。毎日部活に来て指導してくれる先生がいてくれれば良いと思う。
	環境の良い所
	登校時間、下校時間にパトロールを強化する。
	子どものためのパーク。
	いじめ被害者の支援、嫌な時逃げ込める子供だけの場所、学校でいじめ被害者といじめ加害者のクラスを分ける。
	犯罪が無く、防犯が取り組まれている町。

	街の活気をもっと増してほしい。今は、新型コロナウイルスの為で、3密を守らなければいけませんが、アーケード施設や、他制限を緩めてほしい。昔は、親と一緒に遊べるゲームセンターなどが2つほどありましたが、今では1つしかありません。ゲームの機種は少なく、とても遊べるというほどの施設とは言えません。なので娯楽を増やしてほしいという事は、一つの願いです。そして、今の時代はハイテクが重要です。そちらの導入もIT教育になるのではないのでしょうか。
	私の学校では、よく地域の方々から中学生が遊んでいるなどという連絡が入るらしいのですが、自分たちが中学生の頃は遊ばなかったのか？と問いたくなることがあります。なので些細なことで連絡をするのは止めた方が良いと思います。連絡をしたところで実際は、帰りの学活で少し話される程度ですし、意味があるのか疑問です。
	もっと遊ぶ場所を増やしてほしい。
	子どもが望むようなことを町において、また町中の子どもたちにアンケートを実施して意見を聞いてみるなど。
	カウンセラーの時間を確保して欲しい。
	地域の人みんなが温かい気持ちを持って生活すること。相手に対する思いやりの気持ちを持って接すること。
	テストの回数を減らす。
	俯いている人や泣いている人に声をかけ、慰めてあげ、元気づければ良いと思う。あと信頼出来るか出来ないかを見せ相談に乗るのも、子どもが過ごしやすいと思います。なぜなら、信頼出来ると知れば、困っている理由も詳しく話してくれ、解決出来ると思うからです。逆に、信頼できないと知ったら、理由を話さなくなり、心に傷を負ったままにさせてしまうかもしれないので、信頼できるということを相手に見せ相談に乗ったら、心に傷を負わずにすっきりして過ごせると思います。リストカットをする人も減ると思います。(私も、それに似たことをやったことがあるので上の文章はおねがいごとです。)
	広い公園やスポーツ場、スポーツの試合ができるグラウンドを増やして欲しいです。
	体験授業がもっとあって欲しい。

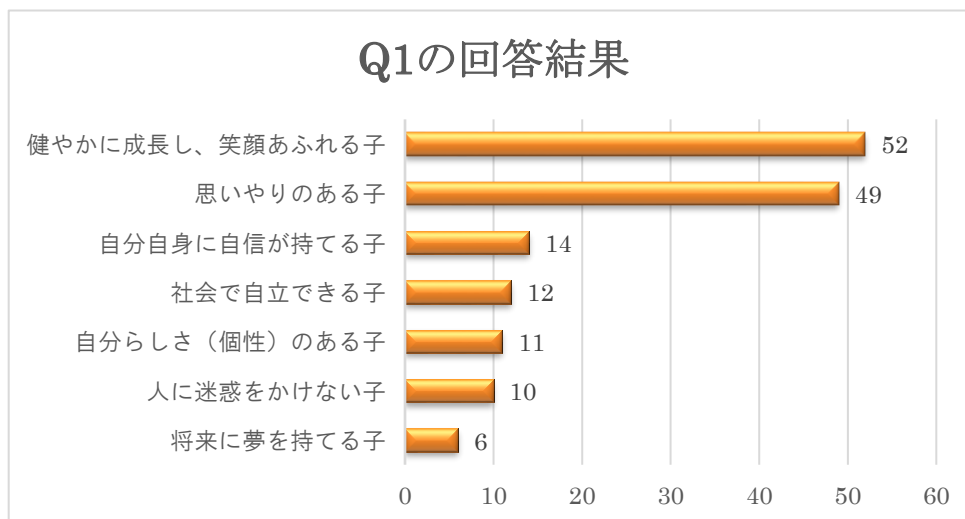
	親も先生も大人も自分の事は、見ているのかもしれないけど自分自身（中身）を見てくれているかどうかなんて分からないけど、きつといないと思っている。そういう人のためにも、カウンセリング室の方とお話しする機会を設ければ、自殺もリスクもなくなるのではないかな。子どもが過ごしやすいと思うのは、一番に周りの環境を変えるべきだと思う。「いじめている人が原因」とか「いじめられている人も原因がある」と言っているが、話を聞いてくれない大人や親がいない人も沢山いると思う。だから、カウンセリングの方と、休み時間に話せる環境がほしい。自分は、皆とクラスメイトと仲良くして沢山友達がほしい。でも、打ち込めない。キラキラキャラではないから、生まれ変わったらキラキラキャラになりたいなと思っている。上からの文ですみません。少しでも、この環境が変わればいいなと思っています！
	先生によってはひいきする先生がいる。
	芸術・文化の街づくり。
	大人がちゃんと子供の意見を聞いてくれるようにすればいいと思います。
	もっと新しい公園を作った方が良く。原町にはあるけど鹿島にはそんなにない。あってもボロボロ。事故を無くすようにする。
	もっとお店を増やす。地域のイベントを増やす。
	遊ぶ所を増やす。蛍光灯を増やす。大きなショッピングモールが欲しい。目印的なものを作る。例、東京タワー
	学校にスマホを持ってても良いようにする。
	温泉。
	スポーツショップやアスレチックなど体を動かせる所があれば、今の子供がずっと家の中にいて遊ぶのではなく外に出て遊ぶという機会があるので良いのかと思います。
	遊べる所をもっと増やす。街灯を増やす。
	子供の遊ぶ場所がまあまあ少ないと思うので、少しだけ増やした方がいいと思います。(特に自分の家の近所に公園などはありません)
	自由。
	本屋（図書館）などがあれば調べ物がしやすい。
	街灯を増やす。コンビニをもっと建てる。
	安く勉強を見てくれたり、教えてもらえたらみんな助かると思

	います。
	見回しても、ゴミが無いこと。気軽に行けるお店がある。
	あまり子どもの前では、溜息を吐かない。溜息を吐かれるだけで不安になる。八つ当たりをしない。機嫌が悪いのは分かるけど、いつもやって喜んでもらえることをして、切れられたら悲しいし、むかつく。
	子どもと地域の人々の交流会を行い、犯罪を減らす。
	道が狭く、車が多いのに横断歩道が少ない。車も止まってくれない。横断歩道を増やしてほしい。
	学校の勉強が楽しくできる。
	どうしても家に帰りたくない人のための公共施設。
	いじめのない暮らし方。
	ショッピングセンターなどを作る。テストの回数を減らす。

子育てに関するアンケート結果

- ◎目的：これから子どもを育てていく保護者の方の率直な気持ちを聞くためにアンケートを実施
- ◎対象：令和3年4月以降に子どもを出生した世帯（160世帯）
- ◎実施期間：令和3年11月20日（土）～11月26日（金）
- ◎回答数：79件／発送件数：160件 回答率：49.375%

**Q1 お子様には、将来どんな子どもに育ててほしいと思いますか。
当てはまる番号に○をつけてください。（2つまで）**

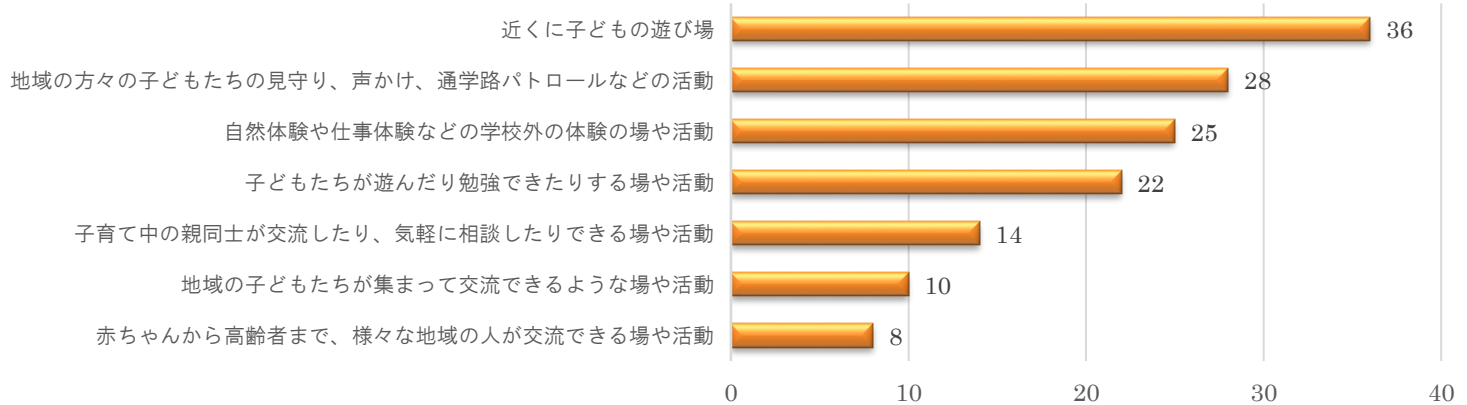


【その他回答】

- ・健康で自分のやりたいことをできる子
- ・自分のことを大事にし、他人の心も大事にできる子、そして、大変なことや苦しいことがあっても人生を楽しんでいける人になって欲しい。自分ですすむ道、やりたいことを選択していける大人になって欲しいです。
- ・素直に人の話を聴ける子

Q2 これからの子育ての中で、どのような地域環境があるとよいと思いますか。当てはまる番号に○をつけてください。（2つまで）

Q2の回数結果



【その他回答】

- ・ 土日祝日も子どもを預けられる施設
- ・ 小児に対する医療提供体制の充実（重症・夜間救急時の受入体制）
- ・ 医療体制が整っている環境
- ・ 上記のもの全て大事だと思います。子育て中の親が、自分自身の時間やすきなコトをやることも大事で、大人たちがイキイキとして暮らしを楽しむ姿を見せることも必要だと思います。
子どもがあそんだり、ワークをしたり、交流する場を親（母）たちがワークをしたり交流する場が一体となったもの、活動があり、そこに地域の方や多世代交流が生まれ、つながっていく環境が必要だと思います。
- ・ 安心して歩くことが出来る、歩道、ガードレール等